

愛知学院大学歯学部同窓会 女性企画委員会

第1回 令和の集い 報告書

～ “輝き” それは1日にしてならず～

日時：令和元年9月8日(日) 11:00～14:30

場所：愛知学院大学 楠元キャンパス

歯学部基礎教育研究棟 1F 第1講義室・談話室



愛知学院大学 歯学部同窓会
女性企画委員会

第1回 令和の集い

令和元年9月8日(日) 11:00～14:30 (受付10:30～)

愛知学院大学歯学部 楠元キャンパス 第1講義室
〒464-8650 名古屋市千種区楠元町1-100

講演	0から2歳児の歯科室 ～家族が教えてくれたこと～ 講師 今泉三枝先生 (27回生・今泉歯科)	プチ講演	夢を叶える 講師 村上多恵子先生 (8回生・愛知学院大学歯学部非常勤講師)
-----------	--	-------------	--

参加 愛知学院大学歯学部同窓会員 **会費** 2,000円 (ランチ・お茶代) 当日徴収させていただきます

申込方法 申込用紙にご記入の上、下記連絡先までFAXにてお申し込みください。
愛知学院大学歯学部同窓会事務局 FAX: 052-763-1777 (担当: 清水)
締切日/令和元年7月20日(土)
※詳細は愛知学院大学歯学部同窓会のホームページをご覧ください。ホームページからも申込用紙をダウンロードいただけます。
(<http://dosokai.dent.aichi-gakuin.ac.jp/main.html>)

主催/愛知学院大学歯学部同窓会 連絡先: 052-763-1877 (事務局 清水)

講演後懇親会があります



【巻頭言】

本同窓会において、令和元年度7月末現在の同窓会員は7061名で、その中の女性会員は1521名と約21%を占めています。48～53回生では女性会員の割合は39.3%で、今後の同窓会事業・活動を継続していくうえで、女性会員の意識向上を図り、意見・要望等を事業に反映していくことが不可欠となりつつあります。

本同窓会では全国の歯学部同窓会の先陣をきって平成20年に「女性支援委員会」を設置し、

＊同窓会発展のため、女性会員の意識向上を図ること

＊女性会員の力を発揮できる場を作る事

＊女性会員の要望などを取り入れる窓口となる

という趣旨で当時の同窓会長である井上峰雄先生のもとに創設され、隔年で女性会員に向けた講演会、アンケート調査、学会発表などを実施してまいりました。

平成28年度からは「女性企画委員会」と名称を改め、中村美保委員長のもと、女性会員同士の縦横の繋がりを深め、コミュニケーションを推進し、同窓会として女性会員の悩み相談や活躍をサポートするための「女性同窓会員のネットワーク作り」を目的に掲げ、2～3か月に1回のペースで活動しています。

平成27年から継続している三齒科大学(愛知学院大学歯学部同窓会、朝日大学歯学部同窓会、松本歯科大学校友会)共催の『女性歯科医師の集い』の愛知学院出身者からの参加者アンケートにて、本学単独での講演会や懇親会開催の要望が多くあった事が契機となり、このたび『第1回令和の集い』の開催の運びとなりました。

第1回は、会場を愛知学院大学楠元キャンパス、講師を女性企画委員27回生の今泉三枝先生、8回生の村上多恵子先生にお願いし、講演、ランチョン形式によるプチ講演、懇親会といったスケジュールで、男女合わせて56名、6回生～51回生といった幅広い年齢層の同窓会員の参加で行いました。子育て中の会員には、出張託児所を設置し、2名のお子様にご利用頂きました事は、たいへん有意義であったと捉えています。

大きなアクシデントもなく、盛会裏に終了できました事は、ひとえに池山正仁同窓会長をはじめとする執行部の先生方のご支援ご尽力の賜物であると感謝しております。

今後も同窓会員同士が繋がりネットワークを広げ、会員皆様の各分野でさらなるご活躍を祈念してここに報告書を作成いたしました。

(森岡貴子)



【参加者】

愛知学院大学歯学部同窓生 56名（男性 5名 女性 51名）

【タイムスケジュール】

11:00 開会の辞
委員長挨拶
池山正仁会長挨拶



11:20 講演
講師 今泉三枝先生（27回生）
演題 「0から2歳児の歯科室～家族が教えてくれたこと～」

12:20 ランチョン
50周年記念DVD放映
プチ講演
講師 村上多恵子先生（8回生）
演題 「夢を叶える」



～談話室に移動～

13:10 懇親会
委員会活動報告、アンケート結果報告
茶話会

14:25 閉会の辞

【講演】

演題 「0から2歳児の歯科室～家族が教えてくれたこと～」
講師 今泉三枝先生（27回生 今泉歯科院長）



■ 歯科による乳幼児期からの口腔発育支援

当院では、子どもの成育における良好な生活習慣の確立をめざし、定期通院を基本とした0から2歳児から始める予防歯科医療を提供しています。

この歯科教室では、対象となる乳幼児に対し、口腔内診査のみならず、子どもを取り巻く環境、身体発育までの観察を行います。また、各家庭で用意した離乳食を食べる様子を観察、記録し、指導を行っています。

私自身、仕事との両立で限られた時間の中、情報交換の場を見つけることは困難でした。SNSが普及した昨今ですが、情報が多すぎることで苦しくなることもあります。個々の子どもに合わせたアドバイスを行うことで笑顔あふれる子育てに寄り添い、歯科医療者として専門的な支援の必要性をお伝えしました。

■ 講演を終えて

「第1回令和の集い」にて講演の機会をいただき、同窓会女性企画委員会の皆様には、深く感謝いたします。後の茶話会の中では、育児、介護の経験ありなしに関わらず、口腔機能の問題や予防歯科医療について、論議が繰り広げられ、同窓女性歯科医師の熱量が感じられました。

【ランチョン】

プチ講演

演題 「夢を叶える」

講師 村上 多恵子先生（8回生 愛知学院大学歯学部非常勤講師）



「今どんなことに気がついていますか？」

この質問はゲシュタルト療法で行う「気づきのレッスン」の最初の質問です。

ゲシュタルト療法は精神分析医フレデリック・パールズ(Frederick S. Perls)と妻のゲシュタルト心理学者のローラ・パールズ(Laura Perls)、そして編集者のポール・グッドマン(Paul Goodman)の三人によって創られた実践的な心理療法で、「今-ここ」に意識を向ける気づきの心理療法です。これはNLPの技法や交流分析の「再決断療法」での脚本分析へのアプローチの方法として用いられています。また、「今ここ」での気づきを重視する実践的な立場は、コーチング、フォーカシングなどにも多大な影響を与えています。

<気づく>ことは「夢を叶える」スタート！

動物は必要なことに<気づく>能力を持っています。有機体である人も必要なことに<気づく>能力があるからこそ生きていくことが可能になるのです。

そして、自分の求めていることに気づくことが大切です。気づかない場合には選択のしようがない。選択というものを実現するためには「気づき」が必要となるのです。この気づきの体験は「アッハ体験」とも呼ばれていますが、特別な訓練やトレーニングを受けなくても誰にでも起こることです。この「アッハ体験」は知識による気づきではなく、身体の中の感情・神経・生理的な感覚が重なり合っ<からだ>で納得することを言います。そして、この気づきは選択を生みます。将来を自分で自由に選択することで、人生の可能性が広がるのです。

さて、そのゲシュタルト療法の「座布団」の上で、自分の体の声や感情に耳を傾け<からだ>で納得した気づきは、「世界一周クルージングの旅」を選択するエネルギーになりました。ランチタイムの中の20分、世界一周クルージング夢の実現にお付き合い頂きました。そして、皆さま其々の夢も叶いますように。



【懇親会】

茶話会まとめ

講演後、談話室に移動し、8グループに分かれてケーキ、コーヒー・紅茶を頂きながらの茶話会が行われました。

気楽に親交を深めてもらいたいとテーマを決めずに、各グループのリーダーに進行が委ねられました。自己紹介を行なった後、なぜ歯科医師を選んだか？生まれ変わっても歯科医師になるか？(Aグループ)、キシリトールやPMTCに関する話題(Bグループ)、最近気になっていることや悩みなど(Cグループ)、長きにわたり診療に邁進され、思い切りよく仕事をリタイアされた先生の経験談を中心に(Dグループ)、リフレッシュ方法と男性の家事参加について(Eグループ)、衛生士不足や、予防をいかに浸透させるかなどの話題(Fグループ)、現在のお仕事の状況や日常の関心事などについて(Gグループ)、子育てと仕事の両立、女医だから経験したいやなことについて(Hグループ)と、どのグループも熱い議論が交わされていました。また、常日頃から健康の大切さを痛感し、そのために努力されているという話題が多くあがっていました。

その中であがったお悩みや相談について抜粋すると

「子育てと仕事の両立」のお悩みに対し、「学校行事等は診療時間を休みにして参加」「家族(祖母)などにみてもらって仕事を続けている」「診療所に連れてきてスタッフにみてもらった」などの回答がありました。

「介護のために休むことでスタッフと軋轢があり悩んでいる。」というお悩みには「仕事は絶対続けなさい」というアドバイスがありました。他には、医院の継承、結婚、スタッフ管理、子供の教育問題などがあがりました。

くじ引きにより席を決めたにもかかわらず、親子や友人が同じテーブルになったり、部活で先輩・後輩だったり、初対面でもお互い何かしらの繋がりがあり、同窓ならではの親しみを感じ話はずみませんでした。また、人生を謳歌されている先輩の前向きなお話を伺って、明日からまた頑張る勇気を頂きました。

女性歯科医師として様々な生き方に共感したり、情報を得たり、楽しく語り合う有意義な茶話会になりました。

(飯田久恵)



【アンケート集計結果】

アンケートのお願い

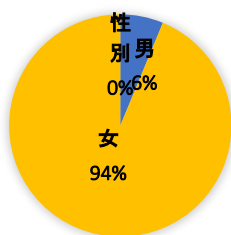


1. 年齢 ①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑥70代以上
2. 性別 男 ・ 女
3. 職場での立場 ①歯科診療所勤務医 ②大学等医育機関勤務 ③歯科診療所開設者
④行政 ⑤その他 ()
4. 講演内容 ①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満足 ⑤不満足
5. 懇親会 ①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満足 ⑤不満足
6. 会場について ①満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満足 ⑤不満足
7. 会費について ①安い ②妥当 ③高い
8. 今後も女性企画委員会主催の会に参加したいと思いますか？
①参加したい ②どちらとも言えない ③参加したくない
9. 女性企画委員会の Facebook ” AGUD—女性の会 “を知っていますか？
①知っている ②知らなかった
a 参加している b 参加していない c 参加しようと思っている
10. 女性企画委員会主催の会で取り上げてほしい企画があればお書きください。
11. その他 ご意見があればお書きください。

♥ご協力ありがとうございました。最後に回収しますので、よろしくお願い致します。

上記アンケートを行い、回答者は参加者 56 名（男性 5 名）のうち 48 名（男性 3 名）であった。以下に結果と考察を報告する。

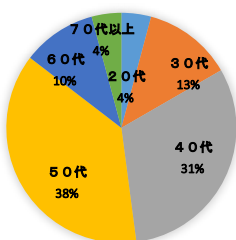
< 性別 >



参加者 56 名（男性 5 名）であったため実際の比率は女性 92%、男性 8%であった。

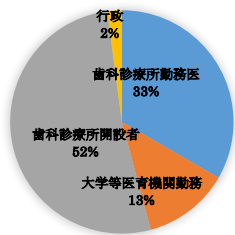
茶話会に参加してもらい女性の意見を男性に知っていただける良い機会であった。

< 年代 >



50代が多く40代と合わせると7割近くなり、自分の時間に余裕ができる世代の参加者が多かったのではないかと思います。

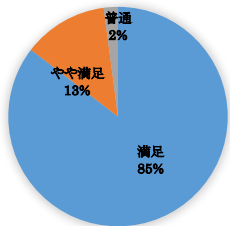
< 仕事上での立場 >



歯科診療所開設者が半数以上いた。残りは行政・医療機関含めた、勤務者であった。

他職種で集まる機会があまりないのでそれぞれの立場からの意見が伺えた良い機会であったと思われる。

< 講演内容 >



満足・やや満足、合わせて 98% を占めた。

以下の感想を頂いた。

* 県歯や日歯雑誌でも評判の講師だったので楽しみでした。

自分の子育ての時に知っていたら子供の見方が違ってきたかなと思います。

* わかり易かったです。

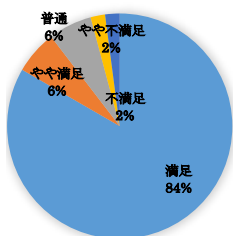
* 新たな知識をつけることができとても勉強になりました。

一方で

* 少し時間が短かったです。もう少しお話聞きたかったです。

というご意見もあり、今後の検討課題となった。

< 懇親会 >



満足・やや満足、合わせて 90% を占めた。

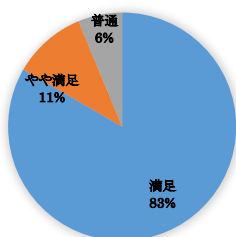
* 久しぶりに会った先輩やわざわざ遠方から来てくれた後輩とおしゃべりできなかった

* 悩みを共有できよかったです

* 有意義な時間でした 少し短かったですけど・・・

という感想を頂いた。不満・不満という方が合わせて 4% あったという事実も受け止め、今後の課題となった。

< 会場について >



満足・やや満足、合わせて 94% を占めた。

* 久々の校舎、懐かしかったです。

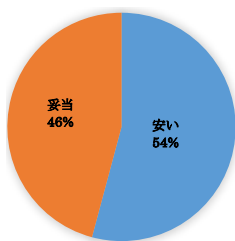
* 楠元良かったです

* 学校に来る機会がなかなかないので良かったです。

という感想を頂いた。

当初女子力 UP の華やかな会場も選択肢にあったが、記念すべき第 1 回ということで学び舎の楠元校舎を選択した。良い評価を得られた。

< 会 費 >

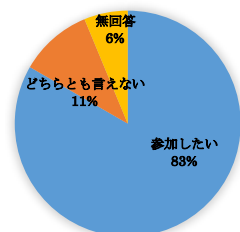


54%は“安い”と感じ、46%は“妥当”という感想であった。

会費のほとんどはランチ、ケーキ、お茶代であった。

しかし、楠元が会場ではあったが費用が発生しており、今回は託児を外部委託したため、協賛企業がない中、今回の会費設定はかなり限界であり、今後の検討が必要である。

< 今後も参加したいか >



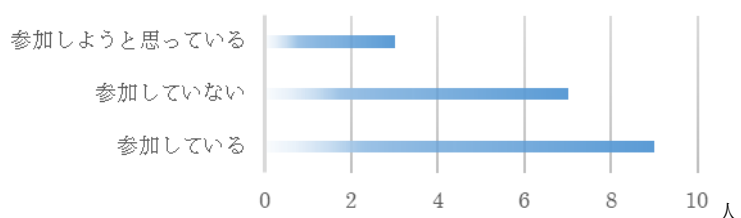
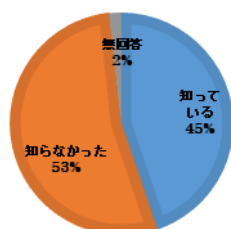
今後も参加したいという回答者が83%であった。

女性歯科医師として世代・立場の違う同窓生の集まりであり、少数ながらも男性の参加者からの意見も聞けるという、とてもいい機会なのではないかと思う。

*女性ならではの視点を診療に活かせるようにお願いします。

というご意見もいただき、今後の開催内容の検討課題である。

< AGUD-女性の会を知っているか >



Facebook に同窓生のための非公開グループとして”AGUD-女性の会”を2017年5月の開設して2年経過している。現在参加者は100名を超えている。“情報収集・情報発信、女性ならではの観点・視点での交流の場”としており、今回の開催の告知も行っている。参加者の半数以上が“知らなかった”という結果には少し残念に思う。

Facebookは流行に遅れているかもしれないが、「令和の会」参加者にアピールする機会ができたので、今後さらに発展していくことを期待する。

< その他 >

♡ご意見（原文）

*首がすわらない乳児もOKにしていただけたらと思います。 ex. 抱っこ OK とか

- *楽しくて有意義な会を開催してくださってありがとうございました
- *いろいろな企画、ありがとうございます。
- *今後も男性も含めて同様な会を企画して欲しい。
- *男性の先生からビールがほしいとの事
- *子供を預かっていただけるのが、とてもありがたかったです。
- *お疲れ様でした。
- *ランチの工夫が素敵でした。大食いの私には少々お上品な量で……。すみません。
- *今日は、なつかしい先生にお会いでき参加してよかったです。この会は、さそわれ知りました。もっと広くこの会の情報を広めると人が集まると思います。
- *ケーキ美味しかったです
- *委員の皆様 おつかれさまでした。
- *同窓生だけの会はなにか気がおけないフン囲気でとても良かったです。

♡女性企画委員会主催の会で取り上げて欲しい企画

- *基礎の基礎レベルの点数説明会
- *がんばって下さい
- *ケーキバイキング（苺フェア）
- *ためになる講演会ありよかったです。
- *女性が参加できる講習会
- *女子力アップする講師選定をしてほしい。
- *また今泉先生のお話をお聞きしたいです。
- *「口腔育成」はまだまだ続けて欲しい
- *今日のような、講演会があったら、また来たいです。
- *今泉先生のお話をもっと詳しく聞きたいです。
- *女性と男性の歯科医師のメリットを互いに認識できる企画をお願いします。

♡みなさんからの貴重なご意見、激励のお言葉に感謝いたします。

「“輝き” それは1日にしてならず」がキャッチフレーズで開催された「第1回令和の集い」ですが、みなさんが凜とした女性として輝き続けることをお祈り申し上げます。（勿論、殿方もです！）

（佐久間恵子）

【エピソード】

森 榮先生との思い出

私が、森先生とおつきあいをさせていただくようになったきっかけは、以前所属していた小児歯科学講座の主任教授だった土屋友幸先生が、平成18年に日本小児歯科学会理事長に就任され、森先生も私も常務理事になったことでした。各方面でご活躍の先生のことは存じ上げておりましたが、それまで、ご挨拶をしたこともありませんでした。面倒見のよい先生は、学会の時などによく食事会にお誘いくださるようになり、出身大学の枠を超えて、全国にいらっしゃる先生のご友人達を紹介してくださいました。交際範囲の狭い私にとって、先生を通して多くの方々と出会えたことは、現在大きな財産になっており、大変感謝しています。



また、歯学部同窓会の女性企画委員会の委員にお誘いいただいたのも、森先生です。これまで同窓会活動とはご縁がありませんでしたが、先生のおかげで幅広い年齢層の同窓生の方と一緒に活動する機会を与えていただき、女性の集う時間を楽しませていただいております。

「ひとの世の幸不幸は人と人との逢うことから始まる よき出逢いを」という相田みつをの言葉があります。森先生との「よき出逢い」によって私はたくさんの幸せをいただきました。ありがとうございました。優しく、包容力があり、はっきりものをおっしゃる森先生が大好きでした。ご冥福をお祈り申し上げます。

(渥美信子)

【当日スタッフ】

女性企画委員 中村・佐久間・森岡・村上・祖父江・渥美・飯田・西村・石原・今泉・伊藤・永縄
兵藤・山根・佐野

オブザーバー 後藤

同窓会事務局 清水

＜スタッフの感想＞

これまで私は他校合同の女性歯科医師の集いにスタッフとして3回参加させていただきました。今年は、愛知学院大学単独での開催となり、そのスタッフとして企画から関わることになりました。

今年の初めから予算決め、日時・場所・講師選定、Facebook・ホームページによる広報、案内状作成、参加者募集、参加者名簿の作成と準備がなされました。また、当日タイムスケジュールの細かなところや役割分担、昼食も試食し、スタッフで話し合いを重ねました。この過程を経て、企画の大変さを学びました。

当日は心配していた台風が東に逸れたおかげで（東京・千葉の皆さんごめんなさい）滞りなく開催されました。当日役割分担は決められていましたが、スタッフ同士絆を越え助け合って仕事をこなしていて、すごく真面目で一生懸命で頼もしいと思いました。（昼食を食わずに頑張ったスタッフもありました。）

また、昔よりIT化した第1講義室での講演・昼食会、かつての学食だった談話室での茶話会は懐かしくてアットホームだと感じました。

茶話会が終わって、参加者の方から「スタッフの方お疲れ様でした」と声をかけていただき、気を張ってバタバタして空回りのような気分だった私には身に余るうれしいお言葉に感じました。

(西村温子)



【編集後記】

今期の委員会は**学院オリジナル**をキーワードに進めています。

これまで私たちは三校（愛知学院大学歯学部同窓会、朝日大学歯学部同窓会、松本歯科大学校友会）で開催する女性歯科医師の集いが委員会活動の中心となっていました。そろそろ学院オリジナルで何かやってみたら～と元委員長の高森 榮先生の激励の声もあり、実現化しました。今回のイベントはこれまでの委員会の集大成とも言えます。

企画・運営は「0」からの出発。タイトルの**第1回令和の集い**、サブタイトルの**“輝き”**それは一日にしてならず、もみんなで練りに練ったものです。女子力はランチボックスの中身についても労力を惜しまず、試食を繰り返しました。1つ1つがまさに手づくり。暗礁に乗り上げたときは、大先輩の村上多恵子先生が明るく解決して下さいました。

そんなこんなので迎えた当日。早朝から女子力のある掃除と整え、重い机を移動しての受付設営、ランチボックス・デザート準備、出張託児、何ととっても学院出身の際立った講師陣、頼りになるオブザーバーの後藤常務のお力添え、オンタイムのFacebook 発信、茶話会でのリーダー力、同窓会広報への掲載、そして報告書の作成、次の開催に向けての意見収集。

令和の集いをすべて終了し、得たものは委員と委員のつながり、それは同窓女子のつながりです。同窓会女子の活動がまたステップアップしました。そして、執行部におかれましては今回も温かく見守っていただき感謝いたします。委員会を代表して厚く御礼を申し上げます。

（中村美保）

